

和光市の協働における課題について

【第二回懇話会にて委員から挙げられた、和光市が抱える主な課題】

(1) 高齢者の孤立

- ・高齢者には Zoom 等が活用できない人が多く、オンラインでの会議に参加できない。
- ・1人で家にいる時間が増加することで、認知機能・身体機能が低下してしまう。
- ・回覧板の受け取り拒否のケースが増加している。

(2) コミュニティの再生（つながりの復活）

- ・防災訓練やお祭り等の自治会イベントが中止になり、地域の人々の結束、絆、コミュニケーション、団結力を強めることができていない。
- ・活動ができていないので、自治会を退会したいという市民が今後増大する可能性がある。

(3) スマートフォン、Zoom 等の IT リテラシー

- ・公共施設の Wi-Fi 環境が十分でない。

(4) 行政の情報提供

- ・市が発信している情報が地域に行き届いていない。
- ・市民のニーズや情報を行政がキャッチできていない。
- ・屋外の施設（公園等）を活用するための手続きが複雑である。

(5) 組織の継続性

- ・感染リスクを恐れ、今までの活動をやめてしまった団体や個人が多く存在している。
- ・これまでの活動の印象から抜け出せず、新しい生活様式に応じた活動形態に変えていくためのアイデアが出にくい。
- ・資金不足。モチベーションの低下。

(6) モビリティ

- ・循環バスが利用しづらい。

(7) 資金不足

- ・集会場などで使用する消毒用品等の購入負担が大きい。
- ・団体継続のための資金繰りが困難。

(8) 多世代交流

※上記から特に重要性・緊急性の高い(1)から(4)の課題について、第三回懇話会にて課題解決の方策を議論することと決定した。

【第二回懇話会で委員から既に提言があった解決策】

(1) 高齢者の孤立

- ・行政が行う会議について、オンライン+オフラインのハイブリッド的な会議運営を行う。
- ・高齢者に馴染みやすい地元ラジオを開設する。
- ・スマートフォンの使い方支援。

(2) コミュニティの再生（つながりの復活）

- ・屋外の公共施設等を活用した取り組み。

(3) スマートフォン Zoom 等の IT リテラシー

- ・メディアの活用。パソコンやスマホのスキルアップ。

(4) 行政の情報提供

- ・公共施設使用等に関する手続きについてのコンシェルジュを配置する。
- ・安心してイベントに参加できるよう、ルールやガイドラインを作成する。
- ・市のラジオ放送を開設する。
- ・回覧板、掲示板等の情報提供、情報流通を整える。

以下は粉川会長から当日頂いたコメント

・コロナで孤立してしまっている高齢者に対し、コミュニケーションをとり、実際に外に出てもらうための取り組みが必要。直接命に係ることであり、認知症の発症リスクも上がってしまう。市民・行政の立場で何ができるのかを考える必要がある。

・復活させるためのキーワードは、イベントやお祭りなどの人の集まりである。もう一度復活させていこうにも、どのような問題をクリアしていく必要があるか。